

平成21年度第2回 下山地域会議 会議録

【日時】平成21年5月21日(木) 19:00～21:00

【場所】下山交流館第11会議室

【出席者】委員 13名出席 3名欠席

清水市議会議員

事務局 加藤支所長 原田 西山 鶴田 加藤

【次第】1 あいさつ

2 会議録署名委員指名

3 前回会議録の承認

4 協議事項

わくわく事業の補助基準について

5 報告

各自治区組長会での報告について

分科会ごとの報告について

【内容】

1 あいさつ

(会長) 本日は、皆さん地元の自治区の会合に出られ、そこでの情報を持ち寄っていただき、地域とのつながりを持てるような地域会議となっていきたいと思っている。

(市議) 日ごろ地域会議の委員として、地域づくりに熱心に取り組んでいただきましてありがとうございます。トヨタ関連のまちづくり協議会で下山のまちづくり計画をしており、今年アクションプラン年次計画を作ります。今後、自分達が中心になってやらなければいけない計画なので、知恵を貸していただきたいと思います。

2 会議録署名委員指名

3 前回会議録の承認

全委員承認

4 協議事項

わくわく事業の補助基準について

(会長) 下山の地域会議の審査基準について、1つずつ決めたいと思う。需用費のイベント用の箸・皿等飲食に必要なものは、補助対象外経費ということで良いでしょうか。

(委員) この地域の考え方として、環境を考慮してエコでということであれば対象外が良いと思う。紙皿が必要ということであれば自分達で準備すれば良いと思う。

(会長) 反対の方みえますか。特に異議ないようなので対象外とする。草刈機の燃料ですが、購入した時と申請時の値段が違って変えないということで良いですね。

(事務局) 領収書を付けていただくので、単価が下がればその分の補助額になる。

(会長) 賄材材料ですが、参加者・受益者の負担にした方がいいという趣旨ですが。

(委員)自分で焼きそばを買ってきて焼いて食べるのは、材料なので良かったと思いますが、それもだめですか。

(委員)はっきりここで食べ物はいけないとした方がいいと思う。

(会長)食べ物については受益者負担ということにする。会員の自動車の使用料について支払っても良いが補助対象外にすることについて。

(委員)例えばレンタカーで借りてきて、支払ってと言われた時は。

(事務局)自分で持っている物なので不可、特殊なトラックであれば専門的な技術が必要ということで認めるか認めないかという判断をしている。

(会長)特殊作業車は認めますが乗用車は認めないことで良いでしょうか。異議がないようなので、継続事業をどうするかですが、当初3年と言われ、例年開催される事業は5年を補助限度とすると、事業申請団体が半分くらいになる。

(委員)5年にすると、後は自分達でということになるためとても無理。

(事務局)全く同一で毎年恒例となっている事業についてのことで、公園整備などだんだん広げていきたい事業は、毎年ですが同じ事業と見なさない。

(会長)事業の中身を分けるということですね。

(事務局)事業を5年で切るのか、賃借料にするのか、ずっと賃借料として継続かという問題があり、毎年恒例でやっていくのであれば、自治区や実施団体で考える部分があってもいいと思う。賃借料だけ5年とする考えもあると思うが、申請しないで地元でがんばっているところもあるため、平等性を考えれば果たしてどうなのか。

(委員)この限度を設けるなら、5年までは今までどおりレンタルも借入もOK、6年目からは1割または2割といった自分たちも自助努力して負担することが必要だと思う。

(会長)自力でできるように段階的に下げていったらどうか。全く同じ内容の事業について5年を補助限度とするという文言を入れるかどうかですが。

(委員)5年間やってくれば力が付いているので、言われるような気持ちはわからないわけではないが。線引きが難しいと思う。似た事業がいくつか出てきて、落とすのか落とさないのか。事務局から説明があったように足助では3年と入っている。豊田市内全体のバランスがあって、下山だけどうして良いのかと言われて説明しにくいという気がする。

(委員)下山全体的だと思うが、やる人は限られている。継続すること自体が非常に難しいことだと思うので、まず継続して地域を盛り上げることをしてくれるのであれば、規制は好ましくない。私は賛成しません。

(委員)続けてみえるのを5年で止めるのはどうかと思うのですが、自分達の努力はしてもらいように、6年目から毎年恒例でやっている事業に対しては半額にするなど、後は努力してくださいといった方向でどうかと思う。

(委員)リースで借りる方を皆好むのですが、金払ってくれるからリースでいいというのは、適正な物なら何も問題ないですが、何でも借りてというのはちょっと抑えた方がいい。ただ、イベントは長く続けてほしい。

(委員)問口は広くしていて、審査の時に細かく見て問いかけると、答え方で分かるのではと思う。決まりは細かいところまでは書かないで置いて、団体とのやり取りでやったらどうかと思う。

(委員)この要綱に入れておけば、みんな最初から考えると思う。

(事務局)賃借料に関しては今回、備品購入は考えられますかといった投げかけはしている。保管場所が無いとか、調理器具なので自分たちで維持するより借りた方がいいと、審査会時に話してい

る。備品購入ということも考えなければいけませんといった回答はいただいている。

(会長) 徐々に変わっていきけるのではないかなと思う。出さないわけではないけれど応援はするので、考えてくださいということで。

5 報告

各自地区組長会での報告について

(委員) 地域会議で分科会に分かれて問題点について検討していること、実際にみりんプロジェクトが動き出したので、依頼があったら協力をお願いすることを伝えた。地域会議に対しての意見はありません。今後、必要に応じて出席し意見交換をしたいと伝えた。

(委員) 4月に組長会で支所だよりの地域会議の動きを配布、5月にも定例会で2回ほど配布、3つの分科会で活動していることを報告した。地域での問題があったら言っていただくようお願いした。

(委員) 地域会議と地元のつながりを持つために、各地元の意見を集約して地域会議に投げかけていただくよう組長をお願いした。産直を有志で立ち上げましたが、皆さんに浸透していないので定期的に品数を集めることも含めて皆さんにご協力していただくようお願いした。地域会議の内容は連絡していくので、皆さんからも意見をいただくことをお願いした。

(会長) 地域会議は何をやっているのかよく分からないと意見がありました。今後はなるべく出さしていただくようお願いした。これからは、地域の声は組長や区長が持ってあがってもらうことが非常に重要になってくることを説明した。

分科会ごとの報告について

(委員) 集落営農については、農政課が予算をつけて動くようなので様子を見ることにし、前回の委員がまとめた産直の活性化に向けた取り組みを考えている。現地の調査をしたり、連絡会でお互いに物流が出来るような仕組みや組織が出来れば良いと思っている。

(委員) 食について実行委員会を開催する予定。住んでみりんについて話し合いをした。下山の問題について意見を出してもらったが、まとまらなかった、これから具体的に考える。

(委員) 当初予算化されたことに向けて遂行し進めていきたいと思う。

(会長) これで第2回地域会議を終わります。